

東臼杵北部地域の普及活動（普及活動月報）

令和7年12月 東臼杵農林振興局
(東臼杵北部農業改良普及センター)

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2)
 - 1 のべおか里山塾「鳥獣対策特別講演」

- II 主な普及指導活動等の取組 (P 2～5)
 - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動
 - [総合プロジェクト関係]
 - [専門プロジェクト関係]

 - 1 【総合1】就農相談の対応
 - 2 【総合1】新規就農者に対する個別支援
 - 3 【総合1】令和7年度経営診断研修会の実施
 - 4 【総合1】認定農業者フォローアップ
 - 5 【総合1】農福連携作業体験会
 - 6 【総合2】稲作研究会実績検討会を実施
 - 7 【総合2】農業法人の経営検討会を実施
 - 8 【専門1】肉用牛農家を対象に巡回支援を実施
 - 9 【専門2】行縢山でのお茶の授業について
 - 10 【専門3】たまねぎ栽培講習会を実施
 - 11 【専門4】延岡地区営農振興協議会花き部会での情報共有

- 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P 5)
 - 1 鳥獣被害防止柵設置者研修

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 のべおか里山塾「鳥獣対策特別講演」

今年度、第3回目の「のべおか里山塾」（主催：延岡市）が19日から21日にかけて開催され、20日には延岡市役所にて生産者や県内外の一般者約50名が参加して鳥獣対策特別講演会が実施されました。

講演会では、国内で現地サイドに立った鳥獣のエキスパートである東北芸術工科大学の田口名誉教授及び北海道大学の池田名誉教授（外来生物、特にアライグマの第一人者）の2名の講師から、貴重な話をいただきました。

田口教授からは、「ゾーニングの実践（空間的棲み分け論）」について、奥山、里山、耕地（集落）のゾーニングの考え方、対抗圧を高めるための防止柵の設置箇所の正攻法、犬の放し飼いの有効性等の話がありました。また、池田教授からは、「特定外来生物アライグマの効果的・効率的防除を目指して～官・民・学協働防除体制の構築に向けて～」について、生態的特性や社会への影響、そして、延岡市に推奨する防除体制として、都道府県公示による防除従事者の増強、出没情報等の把握体制の構築と捕獲体制の構築等の具体的な提案がありました。

II 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合プロジェクト関係]

[専門プロジェクト関係]

1 【総合1】就農相談の対応

17日、延岡市役所にて市・JAの担当者と連携して、就農希望者の相談対応を行いました。

相談者は施設野菜での就農を希望しており、宮崎県農業振興公社にて就農前の研修について事前に説明を受けていましたので、今回は、年間の作業スケジュールや就農後の資金繰りについて説明しました。相談者は、就農についてより具体的にイメージできるようになり、引き続き就農について検討したいとのことでした。

今後も関係機関と連携して相談者の要望に対応し、就農希望者の確保に努めます。

2 【総合1】新規就農者に対する個別支援

新規就農者2名の個別支援を以下のとおり実施しました。

①令和4年就農者（品目：露地野菜）

10日、苗の生育状況を確認し、防寒対策等について助言しました。

また16日に、普及センターにて市の担当者とともに、経営改善に向けた今後の営農方針と青年等就農計画の変更について検討し、改善への助言を行いました。

②令和7年就農者（品目：施設野菜）

11日、普及センターにて市・JA・振興局の担当者とともに、今後の営農及び青年等就農計画の変更について検討し、課題や具体的なスケジュールを確認しました。課題解決のために制度資金の活用が必要であったため、後日、融資機関と就農者の相談に同席して、借入に向けたスケジュール調整等について助言しました。

今後も、関係機関と連携して新規就農者の支援に取り組み、新規就農者の定着を図ります。

3 【総合1】令和7年度経営診断研修会の実施

5日、東臼杵北部（延岡市）管内農業者を対象に、農業経営方法のスキルやノウハウの修得を目的として、令和7年度経営診断研修会（主催：北部農業改良普及センター）を実施し、農業者12名の参加がありました。

講師に宮崎県よろず支援拠点コーディネーターの中小企業診断士である新田裕章氏を招き、「決算書の見方を知って次期の経営を考えよう」とのテーマで講義を行っていただきました。また、講義後に受講者が自身の決算書を用いて、経営分析の実習を行いました。実習中は近隣席の受講者間での意見交換や、講師へ個別に質問する姿が多くみられるなど、受講者の積極性を感じられました。研修後のアンケートでは「決算書の見方、計算の仕方、資金繰りのやり方が分かった」、「経営の安全性と成長性の見方が分かった」といった意見が出され、本研修会で学びを得られたことが伺えました。

今後も農業者の実情を加味した効果的な研修会を関係機関と連携しながら実施していきます。



令和7年度経営診断研修会

4 【総合1】認定農業者フォローアップ

16日、北浦総合支所にて、農業経営改善計画5年目の認定農業者に対し、関係機関とともに計画の更新に向けたフォローアップを行いました。

今回のフォローアップ対象の畜産農業者2戸それぞれに対し、関係機関とともに現在の経営状況を聞き取った上で、経営改善に向けた課題整理や助言を行いました。今回の検討結果を基にして作成された計画が延岡市から認定されることで、次の5か年も認定農業者となることができます。

今後も農業者の経営改善に向け、自ら計画を作成できるように支援を行っていく予定です。

5 【総合1】農福連携作業体験会

5日、延岡市農業労働力確保対策協議会主催による体験会が就労継続支援B型事業所にて実施されました。今回の体験会は、外葉の調整作業で既に農福連携に取り組んでいるにらの生産者が、農福連携を拡大したいという要望に応えた形で行われました。体験会では、最初に持ち込んだ2コンテナ分のニラを、事業所職員が調整の仕方を生産者に確認しながら作業して、どのような作業体系で指示すれば良いかを検討しました。その後、施設利用者にも数名作業してもらいました。

体験会後、現在は試用期間として作業を依頼していますが、この取組は生産者はもとより、障がい福祉サービス事業所にとっても施設内の作業充実に繋がるため、今後、当該施設での農福連携が広がることが期待されます。



にら調整作業の説明

6 【総合2】稲作研究会実績検討会を実施

23日、管内にて稲作研究会の実績検討会を実施し、今年度の生育状況や各種展示ほの結果を共有しました。特に関心を集めたのは高温耐性新品種についてで、管内で3カ所設置された南海189号の展示ほの結果では、品質・収量共に優れていたことから、「今後有望な品種となるのでは」といった意見が出されました。

普及センターとしましては、南海189号の導入に向けて生育特性を踏まえた栽培暦を作成・共有をし、普及を図っていきます。

7 【総合2】農業法人の経営検討会を実施

17日、延岡市の法人施設にて生産者1名、関係機関10名が参加し、土地利用型経営に取り組む農業法人の経営検討会を実施しました。

はじめに、法人から現在（秋冬作）の作付状況、今後の作付計画等について説明を受け、その後に関係機関との意見交換を行いました。作業遅れ等により主力品目である秋冬キャベツの作付面積が減少しましたが、今年はキャベツが豊作で市場での販売が厳しく、今後数年はそのような状況が続くことが見込まれるため、一時的に他の品目の作付を検討しているとのことでした。また作業を効率化するための機械導入の要望も出され、事業活用の検討を行う方向で整理しました。

次の検討会は令和8年3月から4月の間で実施予定です。



検討会での意見交換

8 【専門1】肉用牛農家を対象に巡回支援を実施

26日、管内の肉用牛繁殖農家（4戸）を対象として、関係機関と連携して巡回支援を行いました。

巡回では、生産技術向上を目的に、繁殖状況の確認、子牛の成育状況の確認等を行い、今後の飼養管理に関して助言を行いました。

支援した1戸の農家では、気温低下に対応して飼料給与量を増やし、エネルギー不足を防ぐ対策が取られていることが確認できました。また、同農家において、配合飼料の給与量を計量器で測定し、目分量と実際の重さの照合を行いました。農家からは、「量が少ないのでないかと思っていたので、それを確かめることができて良かった」との意見がありました。

今後も関係機関と連携し、肉用牛繁殖農家の生産性向上に向けて支援を行っていきます。



配合飼料給与量の計量

9 【専門2】行縢山でのお茶の授業について

20～21日、行縢町にある宮崎県むかばき青少年自然の家にて、当地域の自然や農業と市民が触れあうことを目的にイベント（主催：宮崎県むかばき青少年自然の家）が開催されました。今回のテーマは、「茶」であり、延岡茶生産組合の組合長が講師となり、普及センター職員も連携して支援を行いました。

イベント内容は、行縢山にある組合長の茶園散策や、フライパンを使った簡単なお茶の作り方と急須を使ったおいしいお茶の入れ方、お茶がらを使ったアレンジレシピの紹介を行いました。参加者の反応としましては、「お茶について知れて良かった」、「延岡に茶がたくさんあるとは知らなかった。お店のお茶コーナーを覗いてみたい」といった声があり、多くの方がお茶に興味を持った様子でした。

普及センターとしましては、このようなPR活動を通じて、お茶の魅力を伝え、産地として知名度の向上に繋げられるよう、今後も支援を行っていきます。



お茶づくり教室

10 【専門3】たまねぎ栽培講習会を実施

18日、JAみやざき延岡地区本部にて、生産者15名が参加し、たまねぎの栽培講習会（主催：JA延岡）を実施しました。

普及センターから、これまでの気象状況の振り返りと今後の気象予測、たまねぎのこれからの管理について解説するとともに、本年度実施している暑熱対策試験の結果と新品種試験の内容を紹介しました。生産者からは、病気の見分け方や暑さに対する品種特性等の質問がありました。

今後も、たまねぎの基本技術の励行及び気象状況を考慮した栽培管理技術の定着を目指し、栽培講習会等の支援を実施していきます。

11 【専門4】延岡地区営農振興協議会花き部会での情報共有

16日、東臼杵北部農業改良普及センターにて、関係機関11名が参加し、管内花きの状況等について情報共有・意見交換を行いました。

これまで管内の施設花き生産者を中心に、後継者の有無等を把握する目的で「今後の動向に関するアンケート」を実施してきましたが、その結果について普及センターより情報提供を行い、関係機関で現状を共有しました。

今後も引き続き、関係機関と情報共有を行い、管内花きの現状を把握し共通認識を持つことで、適切な花き振興に努めてまいります。

2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 鳥獣被害防止柵設置者研修

22日、延岡市北浦町で、今年度の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して被害防止柵を新規に設置する予定の本村地区及び被災復旧の8地区の代表者を対象とした研修会（主催：延岡市）が実施されました。

今回、延岡市から柵設置における注意事項、農林振興局農畜産課から農林作物等の被害額、普及センターから鳥獣被害防止柵の設置及び維持管理のポイントの3点について支所内で座学研修が行われました。その後、現地では柵納品業者から新たに改良された門扉の設置実演会が行われました。

今回、新規設置者が少なかったことから参加者は少なかったですが、熱心に話を聞かれており、今後、適切な柵設置が進むと思われます。